

# 地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

## 桜名所100選の公園

弘前市は青森県南西部に位置する人口約17万5千人の市である。弘前藩の城下町で、津軽地方の政治・経済の中心地として繁栄し、明治22(1889)年に県下で最初に市制を施行した。戦後は、弘前城をはじめとする数々の文化遺産や自然環境を土台とした文化都市として発展を続けている。06

## 青森県弘前市・文化都市としての魅力向上へ

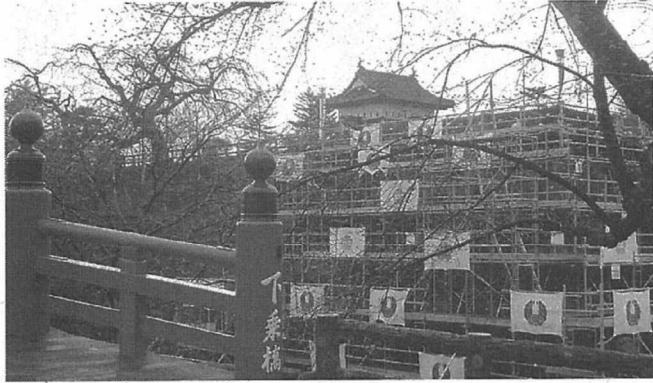
前城天守閣のコラボレーションは、天守閣が元の位置に戻る21年まで見ることができない。しかし、天守閣の移動した15年には「曳屋(ひきや)ウィーク」と称して市民や観光客が、実際に天守を載せた作業台に取り付けたロープを引く曳屋体験を行うなど、天守閣の曳屋工事をイベント化し、大いに盛り上がった。移動した場所には展望デッキが設置され、岩木山を背景とした弘前城を見ることができ、今年4月には「石垣解体始末式が行われ、石垣の解体作業が始まった。19年3月末までに3000個の石が外される予定となっている。また、弘前運動公園内にある「はるか夢球場」の改修工事も進められており、6月にはプロ野球の一軍公式戦(東北楽天オリックス戦)が開催される。東北楽天は東北6県で唯一、青森県での一軍公式戦を開催している。



美術館として利用されている吉野町煉瓦倉庫

戦以来、29年ぶりとなる。煉瓦倉庫で作品展

天守の曳屋に続き本丸石垣修理事業が行われている弘前城



## 弘前城改修も観光に 6月にはプロ野球公式戦誘致



弘前運動公園内にある「はるか夢球場」市は約28億円をかけて改修を行った。なかつたが、弘前市は約28億円をかけた改修を行い、観客席を増設して収容人数を6700人から1万4800人へと大幅に増強した。併せてロッカールーム、ミーティング室、ブルペンなどの新設を行い、一軍戦誘致に向けた環境整備を進めていた。青森県でのプロ野球一軍公式戦は、青森県営野球場で行われた88年の広島ヤクルト

市内中心部には、弘南鉄道中央弘前駅の南側に吉野町緑地と吉野町煉瓦倉庫(旧吉井酒造煉瓦倉庫)がある。煉瓦倉庫内には、地元出身の芸術家、奈良美智氏が作製した犬をモチーフとした「MILK TOZ Memorial Dog」が展示されている。弘前市では、この吉野町緑地と吉野町煉瓦倉庫で美術館を核とした文化交流拠点の整備を進めている。こうした文化・スポーツの振興によって、文化都市としての魅力をさらに増し、弘前市全体の活性化につながることを期待したい。(日本不動産研究所青森支所、不動産鑑定士・桶田邦広)